



教育長だより～エール～ 第17号

～新たな学び舎づくり2025！～

◇義務教育学校ってなんだろう◇

本市では、平成23年3月から「学びと育ちの連続性」の確保を目指して一貫した教育を展開する「園小中一貫教育」を全市的な取組として、これまでも推進してきました。その後、平成28年度に学校教育法が改正されたことに伴って、今後小中一貫教育を推進するには、一人の校長の下、1つの教職員組織により、9年間の系統性を確保した教育課程を編成する「義務教育学校」、もしくは二人の校長が協力して教育課程を編成する「小中一貫校」という、**新たな学校づくりが求められています**。本市では、教育委員会と小中学校7校が**協働して研究**に取り組んでいます。

第30回全国報徳サミット開催！

全国報徳サミットは、全国報徳研究市町村協議会に加盟している市町村が、毎年11月に一堂に集まり、二宮尊徳の教えである「報徳仕法」の検証を通じて、これからのまちづくり・ひとづくりに必要な取組を学ぶために開催されています。

昨年は茨城県の桜川市で開催され、基調講演、アトラクション、参加市町村によるパネルディスカッション等が行われました。

令和7年度は、記念すべき30回目の大会となり、なんとこの秦野市が開催地！会場は「メタックス体育館はだの」です。昨年の大会でも、子どもたちの活躍が光っており、本市でも「秦野こども未来づくり会議」の委員を中心に、はだのっ子の活躍が期待されます。

【現在加盟している17市町村】

北海道：豊頃町

福島県：相馬市、南相馬市、大熊町、浪江町、飯館村

茨城県：筑西市、桜川市

栃木県：真岡市、那須烏山市、茂木町、日光市

神奈川県：小田原市、秦野市

静岡県：掛川市、御殿場市

三重県：大台町



～義務教育学校モデル校一覧～

- ・東中学校区（東小学校、東中学校）
研究の柱⇒**小中一貫した学力向上**
- ・北中学校区（北小学校、北中学校）
研究の柱⇒**小中一貫した特色ある教育活動**
- ・大根中学校区
（大根小学校、広畑小学校、大根中学校）
研究の柱⇒**地域とともに育む一貫教育**

それ以外の15校でも、様々なスタイルで教育水準の改善向上を目指しています。

「秦野 各学校の特色」で検索を！



火育のススメ！～渋沢小～

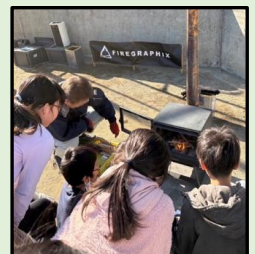
本市では、現行の学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、地域や民間企業と協働した教育活動として、**新たな学びプロジェクト**を推進しています。

今回は、**地元企業の寿産業様**より、同社が生産しているアウトドア用ストーブを活用して、県内でも初めてのケースとして、火を教材とした教育活動に御協力頂きました。

本市のたばこ祭りでは、葉たばこ耕作に携わった先人の情熱を、火に例えるストーリーでイベントが開催されています。今回使用した薪ストーブは学校に寄贈され、今後は防災や総合的な学習の時間での活用も見込まれます。

当日は、安全な火のおこし方や扱い方、薪ストーブの着火体験などを通して、子どもたちが、「火に親しみ、火を学ぶ」という豊かな心を育み、生きる力を高めることを、「火育(ひいく)」と名づけての試みでした。参加した子どもたちからは、感動のまなざしが垣間見られました。

布田社長感謝！



はだのっ子アワード！の表彰式が開催されました

今年もたくさん子どもたちが「ふるさと秦野」を学ぶ「はだのっ子アワード事業」に参加してくれました。

1月18日には高橋市長から39人が表彰盾を受け取っています。来年度も、多くの皆さんに「ふるさと秦野」のことを学んでほしいと願っております。

